

種目【書写】調査研究資料

調査項目	着眼点	調査の方法
1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むこと	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に役立つ様々な文字文化について理解し、適切に使えるために、指導内容が、系統的に配列されているか。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の書き方に関する学習を基礎として、どのような学習内容や言語活動が取り上げられ、程度や分量はどのようなようであるか。 ・上記の学習内容や学習活動に取り組む上で、どのような構成・配列上の特徴があるか。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促すとともに、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の能力を広く生活に役立てようとする態度が育つような、教材が取り上げられているか。 ・上記の事柄につて、程度や分量はどのようなようであるか。
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような学習の進め方や学び方が取り上げられ、程度や分量はどのようなようであるか。 ・家庭において自ら学習に取り組む上で、一人で練習を進めるための視点や観点が位置付いているか。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の学習で身に付けた資質・能力を、各教科等の学習や生活の様々な場面で積極的に生かす態度を育成し、伝統と文化に親しめる内容が取り上げられているか。 	
4 印刷・製本等にかかわること	(1) 教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の総ページ数、重量はどのようなようであるか。
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。 ・印刷の状況（鮮明度、美しさ）はどうか。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・目次、索引、注、凡例、巻末資料等は、どのような特徴があるか。

調査項目・着眼点の根拠

■ 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）

第 1 章 総則 第 1 2

(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。

■ 岐阜県教育振興基本計画（2019 年 3 月）

基本方針 3

目標 11「これからの時代に求められる資質・能力」の育成

